

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	がんに対する Artificial Intelligence (AI)を用いた診断・治療ツールの開発
	研究目的	がんを含めた疾患の診断は従来、医師による画像や検査値、臨床情報の評価により行われてきたが、見落としや誤診は避けられない。近年、人工知能 (artificial intelligence : AI)による情報解析能力が進歩し、AI 診断・治療の社会への応用に向けた研究事業が進行中である。私達はがん臨床のニーズに合わせた AI 診断・治療ツールを開発し、患者さんの診断・治療の迅速化・最適化を目指す。
	研究対象者	神奈川県立がんセンターにおいて 2005 年以降、外来を受診もしくは当院に入院し、包括同意が得られ、レントゲン、CT、MRI、エコー、病理検査、細胞診検査などで画像情報が当院に保管されており、研究責任者、研究参加者が本研究対象として適切と選定した患者さん
	研究期間	西暦 2020 年 5 月 27 日 ~ 西暦 2025 年 5 月 20 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター研 究責任者	佐藤慎哉
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	がん分子病態学部
	共同研究の場合、共同研 究機関および各施設で の研究責任者	千葉大学大学院千葉大学大学院医学研究院 整形外科学 研究責任者：牧 聡